

スタジアムの設備保護のため、
運動靴・動きやすい服装でお越しください！

スペシャルゲスト！
大橋悠依選手 (原市出身)
Mumeiさん (滋賀県出身)

やる！ みる！ 支える！ 食べる！

みんなのスポーツ Festival!!
フェスティバル

2025年、滋賀に
国スポ・障スポが
やってくる！

参加無料
小雨決行
天気などの都合により
中止する場合も
ございます

2024 11.16 ± 12:00
16:00

会場 平和堂HATOスタジアム (滋賀県彦根市松原町3028)

詳しくはこちら

大会応援メッセージコーナー
スポーツ体験 など

フードフェス
お弁当メニュー
コンテスト など

キッズダンス
キャラクター大集合
一緒にうたおう
イメージ
ソング♪

テツ and トモ
ライブショー

観覧無料

※写真はイメージです

ボランティアに参加して大会を一緒に盛り上げよう！

ボランティア参加記念
限定デザイン!!

HOPマネー
500円チャージ付

ボランティアとして参加いただいた方には、株式会社平和堂様ご協賛「大会オリジナルHOPカード」を記念品として進呈します。
詳しくは公式HP内ボランティアページの「お知らせ」をご覧ください。

※画像はイメージです。

募集期間 令和7年5月30日(金)まで

申込み 令和7年4月1日時点で12歳以上で、活動日に参加可能な方。ただし、応募時点で18歳未満の方の申込みについては保護者の同意が必要です。

申し込みはこちら

グッズを手に入れて大会を楽しもう！

ぬいぐるみやトートバッグなど、
各種募金グッズ販売中!!

※売上金は両大会への募金になります。

詳しくはこちら

アンケートに答えて、素敵なプレゼントを当てよう!

01 木村 敬一選手 著書 5名様
本誌にもご登場いただきました木村選手のサイン入りの最新著書です。

02 近江牛 焼肉セット 3名様
お手軽で、食べやすいモモとバラのセットです。

03 わたSHIGA輝く国スポ・障スポマフラータオル 30名様
ここでしか手に入らないオリジナルデザインです。

ご応募方法 締切 10/20(日)まで
応募多数の場合、抽選で当選者を決定します。二次元コードからご応募ください。

※画像は全てイメージです。※予告なく商品が変更される可能性があります。

私たちは「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を応援しています

JAPAN GAMES パートナー (JSPO)

Otsuka 大塚製薬
三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP
MIZUNO

障スポ特別協賛
大同生命はわたSHIGA輝く障スポを応援しています。

DJIDO 大同生命

JAPAN GAMES パートナー (SHIGA)

SEKISUI
滋賀銀行
平和堂
綾羽
muRata
'TORAY'
YANMAR
SGH文化スポーツ振興財団
Nitto

オフィシャルスポンサー

大和証券
甲賀高分子株式会社
NTT西日本
ISHIDA
HORIBA
日経ヘルスシステム 滋賀日経
HEISHIN

※令和6年9月1日現在

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポの寄附(個人・企業)や協賛(企業)、大会広報物を活用して共に盛り上げてくださる広報協力(企業等)を募集しています。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
〒520-0807 大津市松本1-2-1 TEL 077-528-3338 FAX 077-528-4832
kokusyoo-koho@pref.shiga.lg.jp

ミックス FSC 認証
Carbon Offset 23.37g/枚
●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC®認証用紙
●印刷: 有害な溶剤を排出しない水溶性インキ
●製造: 廃業に発生するCO₂をカーボンオフセット済
●CO₂排出量: 23.37g/部

シガイン!!

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ広報誌 No.7

SHIGA

パラ水泳界のエースの
声をお届け!
木村 敬一選手
単独インタビュー
パリ2024
パラリンピック競技大会
2冠!

国スポ・障スポ 開催まであと1年

選手はもちろん、応援する人、支える人、
すべての人が主役として輝ける大会に

メダリスト
乾 友紀子さんが
滋賀ASチームの
指導を開始!
乾 友紀子さん
インタビュー

わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ
3つのポイント
「する」「みる」「支える」の視点から大会を詳しくご紹介!

最新トピック
メダルデザイン・炬火トーチ等のデザイン決定

国スポ・障スポ会場々々完成
平和堂HATOスタジアム / インフロニア草津アクアティクスセンター
滋賀ダイハツアリーナ

スマホ版
音声版
はこちら

special interview

木村 敬一 選手

競技を観戦して、参加して 一人でも多くの人におもしろい!と感じてほしい

スポーツが文化
になれば
人も街も元気になる



水泳を始めたきっかけは

10歳のときに母のすすめで始めました。運動は好きでしたが、2歳の時に全盲になってしまったため、プールなら安全に体を動かせるのではと、地元のスイミングスクールに入れてもらったことがきっかけです。当時、スポーツクラブの多くは障害を持つ子どもの受け入れが難しい状況でしたが、学校の先生がベストなサポートを模索してくださったと聞いています。

国スポ・障スポをどんな風楽しんで もらいたいですか

ご来場いただき、地元の選手と各都道府県の代表選手が繰り広げる本物の競技を肌で感じてください。一方、全国規模のスポーツイベント開催は、スポーツを文化として滋賀県や日本全体に根づかせるチャンスになります。競技への参加や観戦の機会が身近になれば、障害者の方がスポーツに接する機会も増えますし、増えれば増えるほど人も街も元気に。誰もが競技会場に足を運び、競技をする人、みる人、支える人が循環していく、そんな社会の実現を祈っています。第一歩として国スポ・障スポを一緒に盛り上げましょう。



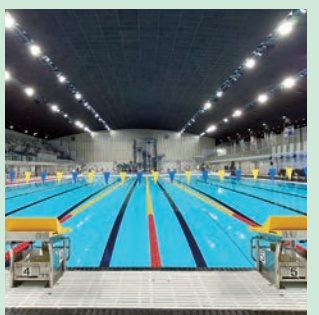
▲ 木村選手が最も得意とするバタフライ

木村 敬一 Keiichi Kimura
 ■ 滋賀県 栗東市出身
 ■ 1990年9月11日生まれ
 ■ 東京ガス所属

先天性疾患により2歳のときに視力を失う。水泳は10歳から始め、筑波大学附属盲学校(現・筑波大学附属視覚特別支援学校)では水泳部に所属。徐々に頭角を現し、高等部在籍時に北京2008パラリンピック競技大会出場。ロンドン2012パラリンピック競技大会で初めてのメダルを獲得し、東京2020パラリンピック競技大会では100mバタフライで念願の金メダルを手にする。5大会連続出場となったパリ2024パラリンピック競技大会では50m自由形(日本新記録)と100mバタフライ(パラリンピックレコード)で金メダルを獲得。北京からパリまでの大会で獲得したメダルは10個。
 プライベートでは「推し」の俳優が出演する映画やドラマ、また靈感タレントとして知られる著名人の怪談話に耳を傾ける。

メダリスト 乾 友紀子さんが 滋賀AS (アーティスティックスイミング) チームの指導を開始!

令和6年8月1日にオープンしたインフロニア草津アクアティクスセンター。水深を0mから3mまで調節できる50mプールと通年利用可能な飛込プールが特徴です。このプールで滋賀国スポASチームの指導を開始した元日本代表選手の乾友紀子さんに、お話を伺いました。



私が現役の頃は、冬は深いプールを求めて関西以外の場所へ行っていたので、アーティスティックスイミングにも対応できる、全面が水深調整可能なプールで通年練習ができる選手は幸せ。このプールから世界の舞台に羽ばたいてほしいです! また大会期間中はぜひ会場に足を運んでいただき、水中で自由に身体を動かして水を操るアーティスティックスイミングの魅力に触れてください!



乾 友紀子さん
 ■ 滋賀県 近江八幡市出身
 2012年のロンドン五輪から3大会連続で五輪に出場し、リオデジャネイロ五輪では銅メダルを獲得。2023年世界水泳選手権ではソロで2大会連続の金メダルを獲得。

いよいよ 1年後!



湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ2025
 第79回国民スポーツ大会
 2025年9月 6日(土)～9月15日(月)
 2025年9月21日(日)～9月25日(木)
 2025年9月28日(日)～10月 8日(水)
 第24回全国障害者スポーツ大会
 2025年10月25日(土)～10月27日(月)



令和7年9月28日(日)に
平和堂HATOスタジアムで
総合開会式を開催!

する

みんなでデモスポに 参加しよう!

競技経験がなくても、県民であればみんなが参加できるデモンストレーションスポーツを開催します。地域発祥のスポーツや、ニュースポーツなど、その数26種類。みんなで、楽しく、健康に! お気軽にご参加ください。

滋賀県発祥の武道
「スポーツ拳法」

年齢や障害の有無に
関係なく楽しめる
「ユニカール」

詳しくはこちら

3つのポイント

みる

競技観戦を楽しもう!

これだけの競技が同時期に開催されるのは国スポ・障スポだけです。この機会に普段みることが少ないスポーツにも触れてください!

| 第79回国民スポーツ大会 | | 実施競技 |
|-----------------|-------|------|
| 正式競技 | 37 競技 | |
| 特別競技 | 1 競技 | |
| 公開競技 | 7 競技 | |
| デモンストレーションスポーツ | 26 競技 | |
| 第24回全国障害者スポーツ大会 | | 実施競技 |
| 正式競技 | 14 競技 | |
| オープン競技 | 4 競技 | |

支える

44年ぶりの大会を みんなで作ろう!

大会運営を支えるボランティアをはじめ、企業団体の広報協力による盛り上げ、寄附や協賛によるご支援など、様々な方に参画いただいています。

会場を運営する
ボランティア

従業員の方々が
大会ネックストラップ
を着用

ご寄附・ご協賛に
対し感謝状を贈呈

最新トピック 大会の象徴 続々決定

多様性を尊重した滋賀らしいメダル

メダルは国スポ・障スポの1位から3位の選手と障スポの補助者に授与するもので、琵琶湖の形にくり抜き、裏面には「しがこく(しょう)すぽ〇位」の点字を刻みます。
 デザインは森雅樹氏(障害者福祉施設「やまなみ工房」所属・写真左)の作品(テーマ「波濤に立つ」)を取り入れ、東北部工業技術センターが制作しました。
 メダルを通じて、障害者福祉の重要性や、多様性を尊重して誰もが主役として輝ける大会を目指すことを伝えていきます。



子どもたちのエールや 滋賀の魅力が詰まった炬火用具

オリンピックの「聖火」にあたる「炬火」。炬火を灯すための用具として、炬火トーチと炬火受皿を新たに制作します。
 炬火トーチの上部は、穏やかで季節によって変化する琵琶湖の波を、金箔貼りの曲線と漆塗りの青の濃淡により表現。グリップには県産ケヤキを素材に東近江の木地師が制作します。深い青色の炬火受皿は琵琶湖をイメージした信楽焼で、台座を飾る小さなピースは、各市町の子供たちが地元の特徴あるものを信楽焼の土を使って思い思いに作ります。
 これらの炬火用具は各市町で行われる炬火の採火イベントで使用します。

